

小学部



9月4日(水)に小学部の5・6年生5名は福島県の消費生活センターの出前講座を受講しました。「カレーパーティーをしよう」題材で、買い物のコツを聞き、2つの買い物ミッションに取り組みました。

1つ目のミッションは『買い物メモ作り』。カレー作りに必要な食べ物を選び、1,500円以内で買えるように調整し、買う物の計画を立てました。2つ目のミッションは『メモを見ながらの買い物』。お菓子や玩具などの誘惑もありながら、メモに書かれた通りに買い物をしました。9月末の修学旅行に向けて、「メモに書いたものを買う」「予算以内の物を買う」という勉強をすることができ、とてもよい学びとなりました。10月30日(水)には、自ら育てた野菜を使い、調理活動で実際にカレーを作り、カレーパーティーをしました。

中学部



9月24日(火)に磐梯中学校28名の3年生が来校し、今年度3回目の交流活動を行いました。今回は8つの班に分かれ、トランプを使ったゲーム交流と、「モルック」によるスポーツ交流を30分ずつ楽しみました。特にモルックでは、初めてこのスポーツに取り組む磐梯中の皆さんに、上手に投げるためのコツを本校の生徒たちが分かりやすく伝える様子が見られました。最後に、音楽交流として、全員で手話を交えながら『翼をください』を合唱しました。この機会を通して、相手校の生徒の多くが手話に興味をもつことができたとの感想をいただきました。



6月27日(木)に地域にお住まいのプロ奏者、日景晶子さんを講師にお招きし、箏の出前授業を実施しました。これまで音楽の授業で取り組んできた「さくら さくら」と「荒城の月」の曲を、日景さんと一緒に演奏しました。また、日景さんが「六段の調」「猪苗代支援学校校歌」「さんぽ」「ピリブ」の演奏を披露してくださいました。生徒は、プロフェッショナルな演奏といろいろな箏の弾き方を見て驚いていました。日本の伝統的な楽器に触れる貴重な時間を過ごすことができました。

高等部



10月12日(土)に第23回特別支援学校スポーツ大会が開催され、本校生徒はフライングディスク競技に4名、サッカー競技に10名参加しました。結果はフライングディスク競技では個人戦入賞2名、サッカー競技ではディビジョン2での優勝という結果でした。サッカー競技については昨年度に引き続きの優勝であり、2連覇達成となりました。大会前には、部活動の時間だけではなく、朝の運動や昼休みの時間を使って練習を行い、仲間同士で切磋琢磨した成果が発揮され、すばらしい大会結果となりました。



高等部3年1組では、9月20日(金)に只見線学習列車企画を活用した社会体験学習を行いました。会津坂下町の会津中央乳業株式会社とお菓子の蔵太郎庵に伺い、工場内で乳製品や焼き菓子などの食品が製造される工程や、そこで働く方の作業の様子を見学しました。

社員の方からの説明では、地域の酪農家や農家の方と連携して製品を作る大切さや、食品を扱う上では衛生管理を徹底することが重要であることを学ぶことができました。

今回の見学を通して、これからの学校生活や就労に向けて自分たちが心掛けるべきことについて考える機会となりました。



←猪苗代支援学校HP
本校の様々な取り組みを発信しております。

<https://inawashiro-sh.fcs.ed.jp/>



←本校「note」アカウント
児童生徒の取り組みや活動の様子を中心に発信しております。

<https://inawashirosh-shs.note.jp/>

「うまくてごめんな山菜」が、十月四日、めでたく発売されました。一年前から高等部の総合的な探究の時間において、話し合いや試作を重ね、二月に吾妻食品代表取締役の佐藤弘一様へのプレゼンテーションを経て、発売される運びとなりました。今年度は、パッケージの文字や絵のデザイン、どんなレシピに合うかの試作品の調理、効果的な宣伝方法、といったように、デザイン・味研究・宣伝の三つのグループに分かれて、探究を重ねてきました。高等部の生徒たちは、生まれて初めて商品開発に携わり、長い時間を経て、ようやく販売までたどり着くことができ、生徒同様、私も大きな喜びを感じています。

令和6年度も折り返し地点を通過し、後半に入りました。小学部に入学した一年生もすっかり学校生活に慣れ、落ち着いて机に向かって学習している姿が見られます。入学してから、新しい生活や学習、行事に果敢にチャレンジしてきました。他の学年の児童も、みんな仲良く、明るく元気に学習や運動、係の仕事に取り組んでいる姿が見られ、たくましさを感じます。

小学部は、三年生が中心となって学部全体を引っ張り、前に進んでいく様子が見受けられます。初めて触れた箏での「さくらさくら」「荒城の月」の演奏、威勢の良い声を張り上げてのニュージールランドの伝統的な踊り「ハカ」への挑戦、自分らしさを出しながらも一致団結し、成長を見せている姿に胸が打たれます。

教頭 佐々木文枝



発行所
福島県立猪苗代支援学校
969-3283
耶麻郡猪苗代町大字長田
字並柳西 3966-2
TEL 0242(65)2151
FAX 0242(62)5083

令和6年度 学校経営・運営ビジョン

福島県立猪苗代支援学校 令和6年度 学校経営・運営ビジョン

学校教育目標 **じょうぶな体をつくろう
進んで学び行動しよう
みんなと仲良くしよう**

「地域と共に学び共に生きる」 「ウェルビーイングの実現」

重点目標
教科等横断的な視点を持ち、地域の人的・物的資源を積極的に取り入れた授業づくりを通して、協働的な学び・探究的な学びの充実を図る。

<p>小学部 学び合える場を工夫し、言葉の力を育てます</p>	<p>中学部 相手の良さを認め合い、思いや言葉遣いで会話する力を育てます</p>	<p>高等部 協働的な活動を取り入れ、生徒が自ら行動、発信する力を高めます</p>
<p>研修部 生きる力を育む教科学習の工夫を大切にした授業づくりを推進します</p>	<p>教務部 児童生徒の学びの姿を家庭や地域に向けて工夫して発信します</p>	<p>進路指導部 進路学習や進路情報を充実させ、将来を見通した進路意識の啓発を行い、望ましい勤労観や職業観を育成します</p>
<p>渉外部 各団体の活動をホームページ等で紹介して地域への啓発を行い、地域の方々との理解と協力を得て、児童生徒の活動を援助します</p>	<p>保健部 児童生徒一人一人の健康課題解決に向けた取り組みを行います</p>	<p>生徒指導部 児童生徒が公共のマナーやきまりを守り安全を意識した行動を身に付けられるようにします</p>
<p>地域支援センター 地域との連携を深め、はあとふるタイムや校内外の教育相談の充実を図ります</p>		

「地域との連携・協働」 「ICTの場面に応じた活用」

児童生徒の生命と安全を守ります
・ 獣害対策
・ 安全・防災教育の充実

夢や希望を抱き進路の実現へ

「いなっ子まつり」



今年度のいなっ子まつりのテーマは「心をついにやってみよう」です。児童生徒一丸となり、ステージ発表や製品販売などで学習の成果を十分に発揮することができました。

当日のステージ発表では、小学部のももたろう劇、中学部のオリンピックの歴史や競技の発表、高等部の作業製品、うまくてごめんな山菜の紹介など、素晴らしい発表でした。また、いなっ子まつり実行委員の児童生徒は、自分の出し物に加え、オープニングやフィナーレ、アナウンスなどにも挑戦することができました。

ご来場いただいた保護者の皆様方のご声援により、会場のみなさんの心が一つになった、とても温かな学校祭となりました。ありがとうございました。